

特集●血液事業のトピックス—身近な献血から iPS 細胞の活用まで

わが国の血液事業の回顧と今後の展望	——日本赤十字社血液事業本部長	西本 至
献血推進のための効果的な広報戦略	——広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授	田中 純子
献血者確保のための採血基準の見直しと環境整備	——東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授	河原 和夫
献血時副作用および輸血副作用の現状と予防策	——日本赤十字社中央血液研究所	岡崎 仁
血液製剤の適正使用と安全確保	——大阪大学医学部附属病院 輸血部長	富山 佳昭
血液製剤の安全性確保のための新興感染症等スクリーニング	——日本赤十字社血液事業本部	百瀬 俊也
広域災害における血液事業の危機管理—大震災での経験を踏まえて	——日本赤十字社東北ブロック血液センター	中島 信雄

骨髄バンク・臍帯血バンク事業の課題と展望

——公益財団法人骨髄移植推進財団	理事長	厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会	委員長	齊藤 英彦
iPS 細胞を用いた血液製剤開発の現状と展望	——	京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門		木村 貴文

●視点

済生会生活困窮者支援なでしこプランについて	——大阪府済生会支部副会長	斎藤 洋一
-----------------------	---------------	-------

あ と が き

編集委員に就任し、初めての特集の企画に当たり、「医療安全」をテーマに選ばせていただきました。私自身、行政の担当者として病院の医療安全対策に関与する中で感じたことですが、医療安全は「ヒューマンエラーは起こるもの」を前提に、リスクを最小限に抑えるべく、院長のリーダーシップのもと、いかに組織的に取り組んでいくかが鍵であり、その管理手法はどの分野においても役立つものと考えたからです。

詳細は、特集をお読みいただくとして、多種多様の職種が集まる病院において、各部署が連携して対策の強化が図られているか、インシデント報告という個人の気付きをチームの行動に結びつけられているか、管理者のリーダーシップは発揮されているか、などなどこのような視点は、私自

身が担当業務に当てはめて振り返る機会ともなりました。また、高齢化の進展に伴い、医療ニーズが益々増大する中、次世代を担う若い人達が安心して医療の道を選択できるような環境を整備していくことはわれわれ現役世代の役割であるとも感じています。

特集の中で古屋先生が触れられていましたが、医療安全を確保するためには、医療関係者はもとより、患者・住民を含む多くの人々や関係機関の協調性ある努力が必要です。誰にとってもいえることですが、患者やその家族の立場になられることもあるでしょう。このような地域における医療安全のネットワークの中で、読者の方々それぞれが置かれている立場において、必要な役割を果たされることを期待しています。

(成田友代)

公衆衛生(第77巻 第7号) 2013年7月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円 + 税 5%)

2013 年年間購読料(税込、送料弊社負担): 冊子版 28,800 円、電子版/個人 28,800 円、

電子版/共有 33,200 円、冊子 + 電子版/個人 33,800 円、冊子 + 電子版/共有 38,200 円

発行: 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室(担当/藤田・能藤): 直通 TEL(03)3817-5718 FAX(03)3815-7802 E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp

販売部: 直通 TEL(03)3817-5659 FAX(03)3815-7804 振替口座: 00170-9-96693 番

印刷所: 三美印刷(株) TEL(03)3803-3131

広告申込所: (株)メディカルブレン TEL(03)3814-5980 デザイン: デザイン・プレイス TEL(03)6426-7805

投稿論文オンライン受付

ID: koshu パスワード: koshu

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2013, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 財団法人日本公衆衛生協会
会長、大阪大学名誉教授

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部次長・山
形県衛生研究所長

高島毛敏雄 関西大学社会安全学部教授

成田 友代 世田谷区世田谷保健所長

西田 茂樹 福島県会津保健福祉事務所長